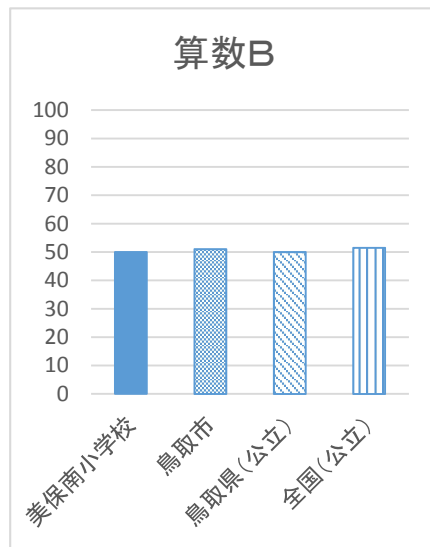
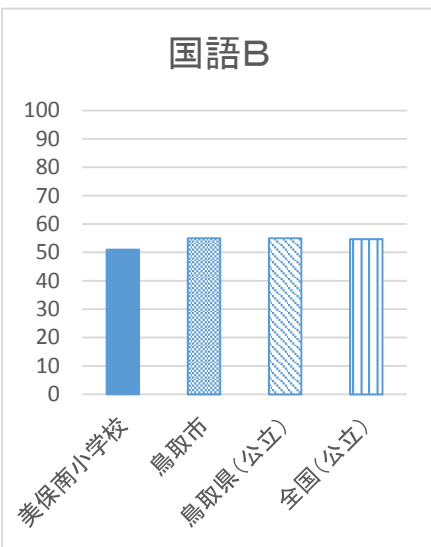
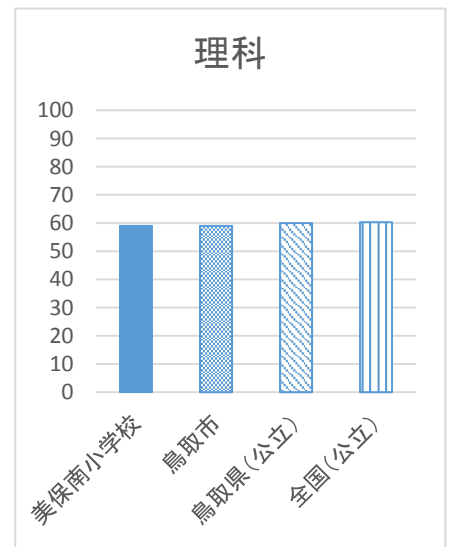
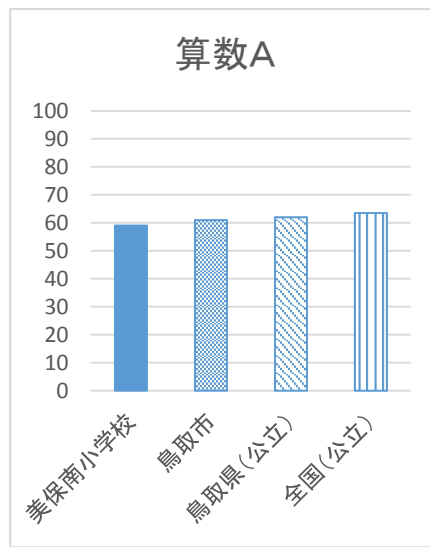
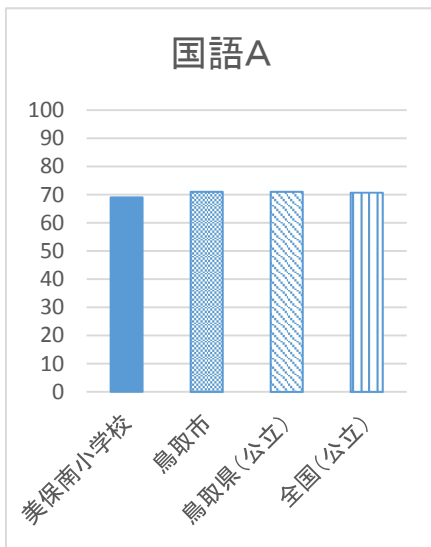


平成30年度 全国学力・学習状況調査結果について

本年度の全国学力・学習状況調査の結果の概要をお知らせします。この調査では、6年生を対象に教科（国語・算数・理科）と質問紙による調査が行われました。結果を学校全体の傾向としてとらえ、子どもたちの良い点はさらに伸ばし、課題については改善に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

ご家庭でも、生活に関わる点につきましては、ご協力をよろしくお願ひいたします。

【教科について】



○平均正答率は、国語A（主に知識について）B（主に活用について）、算数A（主に知識について）B（主に活用について）、理科とも全国の平均を下回りました。

○国語の領域ではBの「話すこと・聞くこと」、ABの「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で県・全国の平均を下回りました。

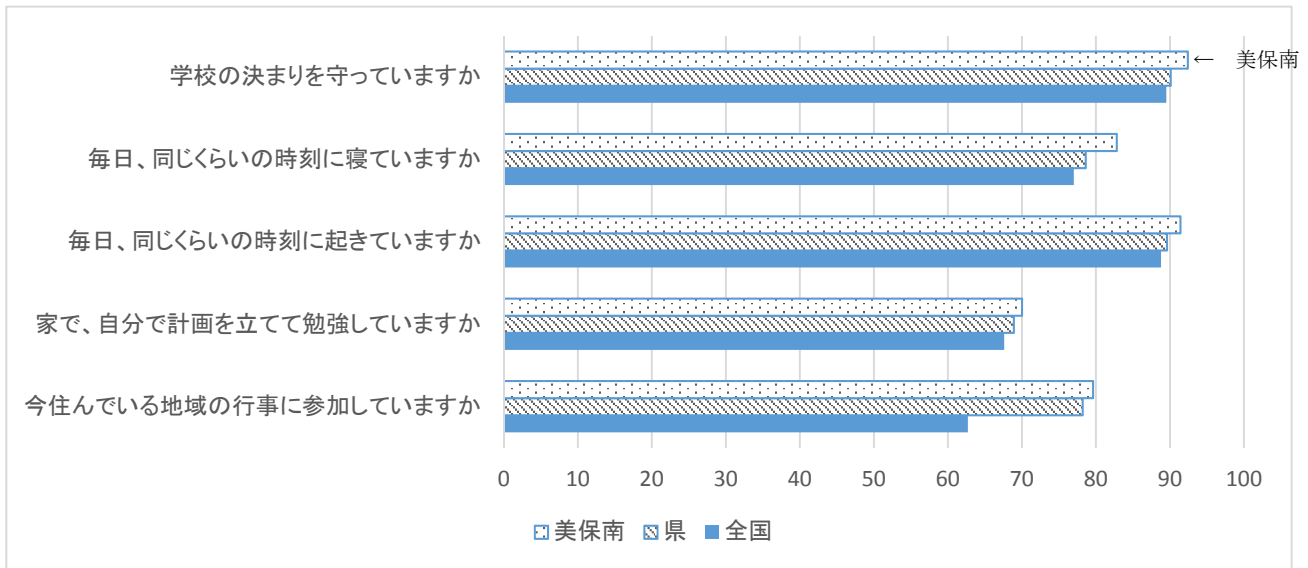
○算数の領域ではBの「数と計算」で県・全国の平均を上回りました。一方でAの「数と計算」、ABの「量と測定」「図形」「数量関係」で県・全国の平均を下回りました。

○全般に選択式・短答式の問題に比べ、記述式の問題において平均正答率が低い傾向がありました。

【質問紙調査について】 児童の学習習慣や生活習慣などに関する質問

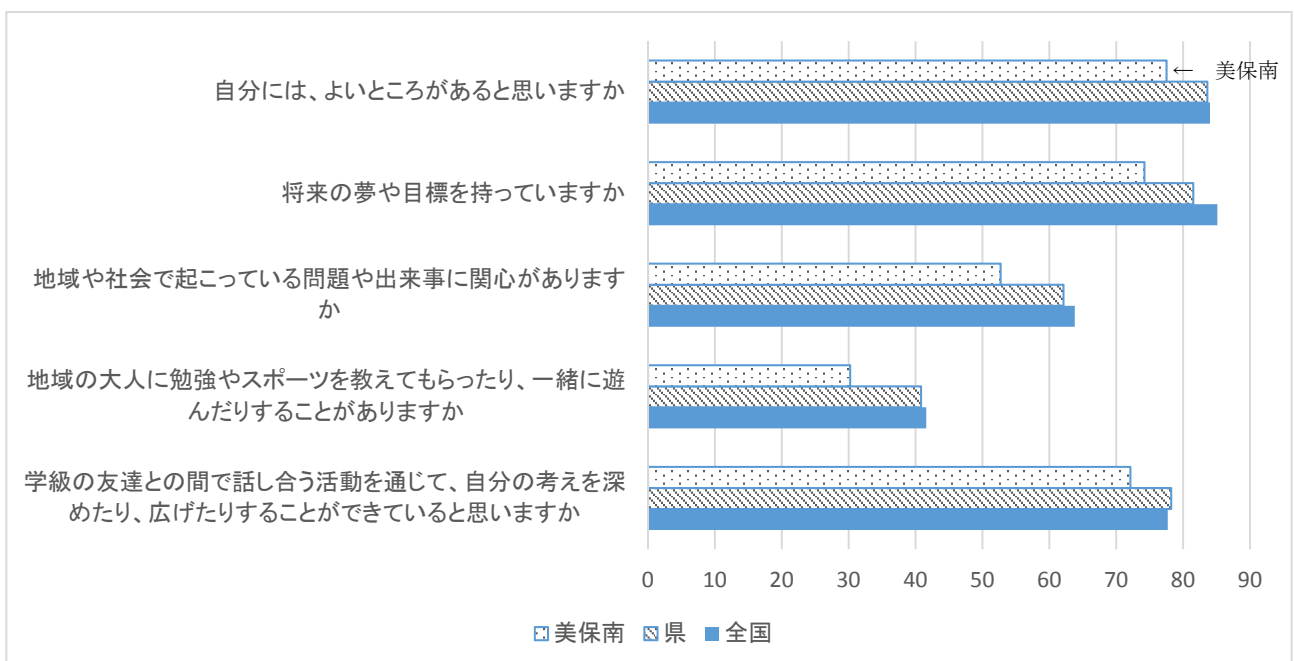
★美保南の子どもたちの良いところ（主なもの）

※肯定的な回答（あてはまる、どちらかといえばあてはまる）の%



- ・ふだんの生活の中で、きまりを守って行動でき、望ましい傾向にあります。
- ・寝る時刻、起きる時刻がきまっており、節度ある生活ができていると思われます。
- ・めあてを持って進んで学習に取り組んだり、前向きに生活したりしている姿が見られるようになっています。
- ・地域の行事に積極的に参加することにより、地域の方に支えていただいていることを感じることや地域のためにできることを考える機会が増えてきていると考えられます。

★これからよくしていきたいところ（主なもの）



- ・周りの人に自分のよさを認められることがあると、自己肯定感が高まり、何事にも意欲を持って取り組むことができるようになると思います。
- ・家の人と将来のことについて話をする時間を持つことで、将来についての明確な目標を持つことができるのではないのでしょうか。
- ・地域の人と一緒に活動したり、地域や社会で起こっていることに目を向けたりすることにより、さらに地域の一員としての意識が高まってくると考えられます。
- ・学校での学習の際に、友達の話をしっかり聞き、自分の考えを持つことができるよう授業の工夫や主体的・対話的で深い学びの姿が見られる授業の構成をすることが求められています。

《結果を受けて》

学校では次の点について力を入れています。

◆自ら課題を持ち、進んで考える学習の充実

学習課題を子どもたちとともに作り、進んで考え、伝え合いながら考えを深めていくような授業づくりに努めています。

◆基礎基本を大切に学習指導

計算・漢字等のスキルアップを図る時間（練習問題等に取り組む時間）を普段の授業にも設定することにより、基礎基本の定着を図っています。

◆魅力ある授業の工夫

子どもたちが進んで学びたいと思うような導入の工夫をしたり、実験や体験的な活動を盛り込んだりすることで、「よし、わかった。」「面白いな。もっと調べたいな。」と思える魅力ある授業展開の工夫をしています。

◆家庭学習の習慣化・質の向上

「家庭学習のてびき」を生かして家庭学習の習慣化を図っています。南中学校区で共通して取り組んでいる「家庭学習がんばり週間」もその一環です。また、学年に応じて自主学習ノート等を中心とした自主学習の指導を行っています。

ご家庭では・・・

- ◇お子さんとの会話を大切に ⇒お子さんの話をしっかり聞いて、もっと話したいという意欲につなげたり、子どもなりに考えていることについて認めたりしてみましょう。
- ◇社会への関心が広がるように ⇒新聞やテレビなどのニュースを話題に挙げてみましょう。
- ◇よい生活習慣の定着を ⇒朝食を食べる・早寝早起きをする・決まった時刻に決まった場所で決まった時間以上学習するなど環境を整えましょう。お子さんの学習の様子に関心を持ち、努力を認めていきましょう。